

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年9月26日(2019.9.26)

【公表番号】特表2018-531886(P2018-531886A)

【公表日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2018-042

【出願番号】特願2018-506211(P2018-506211)

【国際特許分類】

A 61 K 35/74 (2015.01)  
A 61 P 37/02 (2006.01)  
A 61 K 39/00 (2006.01)  
A 61 K 39/395 (2006.01)  
A 61 K 41/00 (2006.01)  
A 61 K 35/26 (2015.01)  
A 61 K 35/17 (2015.01)  
A 61 K 35/28 (2015.01)  
A 61 P 29/00 (2006.01)  
A 61 P 3/00 (2006.01)  
A 61 P 37/08 (2006.01)  
A 61 P 25/00 (2006.01)  
A 61 P 43/00 (2006.01)  
A 61 K 31/454 (2006.01)  
A 61 K 31/167 (2006.01)  
A 61 K 31/277 (2006.01)  
A 61 K 31/138 (2006.01)  
A 61 K 31/4535 (2006.01)  
A 61 K 31/573 (2006.01)  
A 61 K 31/57 (2006.01)  
A 61 K 31/7088 (2006.01)  
A 61 K 31/7105 (2006.01)  
A 61 K 31/52 (2006.01)  
A 61 K 31/48 (2006.01)  
A 61 K 31/606 (2006.01)  
A 61 K 31/341 (2006.01)  
A 61 K 31/352 (2006.01)  
A 61 K 31/65 (2006.01)  
A 61 K 31/7036 (2006.01)  
A 61 K 31/165 (2006.01)  
A 61 K 31/4375 (2006.01)  
A 61 K 31/496 (2006.01)  
A 61 K 31/4409 (2006.01)  
A 61 K 31/4965 (2006.01)  
A 61 K 31/43 (2006.01)  
A 61 K 31/4709 (2006.01)  
A 61 K 31/7068 (2006.01)  
A 61 K 31/426 (2006.01)  
A 61 K 31/4184 (2006.01)  
A 61 K 31/513 (2006.01)  
A 61 K 31/522 (2006.01)

A 6 1 K	31/7056	(2006.01)
A 6 1 K	31/49	(2006.01)
A 6 1 K	31/519	(2006.01)
A 6 1 K	31/58	(2006.01)
A 6 1 K	33/24	(2019.01)
A 6 1 K	31/282	(2006.01)
A 6 1 K	31/4745	(2006.01)
A 6 1 K	39/35	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/19	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)

## 【 F I 】

A 6 1 K	35/74	A
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	41/00	
A 6 1 K	35/26	
A 6 1 K	35/17	A
A 6 1 K	35/28	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	3/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	31/454	
A 6 1 K	31/167	
A 6 1 K	31/277	
A 6 1 K	31/138	
A 6 1 K	31/4535	
A 6 1 K	31/573	
A 6 1 K	31/57	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	31/7105	
A 6 1 K	31/52	
A 6 1 K	31/48	
A 6 1 K	31/606	
A 6 1 K	31/341	
A 6 1 K	31/352	
A 6 1 K	31/65	
A 6 1 K	31/7036	
A 6 1 K	31/165	
A 6 1 K	31/4375	
A 6 1 K	31/496	
A 6 1 K	31/4409	
A 6 1 K	31/4965	
A 6 1 K	31/43	
A 6 1 K	31/4709	
A 6 1 K	31/7068	

A 6 1 K 31/426  
A 6 1 K 31/4184  
A 6 1 K 31/513  
A 6 1 K 31/522  
A 6 1 K 31/7056  
A 6 1 K 31/49  
A 6 1 K 31/519  
A 6 1 K 31/58  
A 6 1 K 33/24  
A 6 1 K 31/282  
A 6 1 K 31/4745  
A 6 1 K 39/35  
A 6 1 K 45/00  
A 6 1 K 38/19  
A 6 1 K 39/39

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月16日(2019.8.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

個体における炎症性疾患、障害、もしくは状態；自己免疫疾患、障害、もしくは状態；アレルギー疾患もしくは障害；代謝疾患、障害、もしくは状態；神経疾患；望ましくない免疫反応；または治療薬の毒性を治療する方法に使用するための免疫調整組成物であって、前記免疫調整組成物は、

a) 生存するカウロバクター(Caulobacter)属と、

b) 医薬的に許容し得る賦形剤と

を含み、前記生存するカウロバクター属は、0.000001~100%生存可能である、免疫調整組成物。

【請求項2】

前記カウロバクター属は、カウロバクター・クレセンタス(Caulobacter crescentus)、リポ多糖陰性カウロバクター・クレセンタス、S層陰性カウロバクター・クレセンタス、カウロバクター・ビブロイデス(Caulobacter vibrioides)、カウロバクター・サブビブロイデス(Caulobacter subvibrioides)、カウロバクター・ヘンリシイ(Caulobacter henricii)、カウロバクター・フシフォルミス(Caulobacter fusiformis)、カウロバクター・インターメディウス(Caulobacter intermedius)およびそれらの成分からなる群から選択され、任意で前記カウロバクター属は、突然変異化、弱毒化、および/または遺伝子改変されている、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記組成物が、自己抗原またはアレルゲンとともに、前記個体へ投与される、請求項1または2に記載の組成物。

【請求項4】

前記組成物が、抗微生物薬、抗ヒスタミン薬、抗糖尿病薬、抗炎症剤、抗増殖剤、細胞傷害剤、免疫抑制剤、免疫調整剤、免疫調節剤、抗体、サイトカイン、プレバイオティク

ス、またはアジュvantとともに、前記個体へ投与される、請求項1～3のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項5】

前記組成物が、マイクロバイオームまたは治療性病原からのプロバイオティクス、シンビオティクス、酵素、治療性メンバーとともに、前記個体へ投与される、請求項1～4のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項6】

前記個体が、ヒト、非ヒト哺乳動物、または非哺乳動物の動物である、請求項1～5のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項7】

前記組成物が、経口、経鼻、皮下、筋肉内、静脈内、腔内、経皮、外用、直腸、眼、または粘膜投与経路を介して投与される、請求項1～6のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項8】

前記組成物が、個体における免疫反応を調節するために使用され、調節性自然および/または適応免疫細胞、および/またはILCの集団の数、活性および/またはエフェクター機能が前記個体において調整される、請求項1～7のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項9】

前記組成物が、個体における幹細胞の増殖、分化および/または調整、ならびにホメオスタシスの修復を誘導するために使用される、請求項1～7のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項10】

前記組成物が、個体における炎症または自己免疫障害または状態を処置するために使用され、前記障害または状態は、関節リウマチ、痛風、疼痛、1型糖尿病、多発性硬化症、全身エリテマトーデス(SEL)、移植片対宿主病、シェーグレン症候群、慢性疲労症候群、自己免疫性肝炎、脾炎、腎炎、副鼻腔炎、鼻炎、ブドウ膜炎、セリアック病、溶血性貧血、加齢、強直性脊椎炎、変形性関節症、骨粗しょう症、筋ジストロフィー、甲状腺炎、敗血症、および自己免疫疾患に関連する線維症からなる群から選択される、請求項1～7のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項11】

前記組成物が、個体における代謝障害を処置するために使用され、前記代謝障害は、肥満、多囊胞性卵巣症候群、糖尿病、インスリン抵抗性、糖代謝異常、耐糖能障害、低インスリン血症、脂質代謝異常、高コレステロール血症、アテローム性動脈硬化症、メタボリックシンドローム、内分泌障害、創傷治癒、酸化ストレス、高血圧、心臓血管疾患、および腎疾患からなる群から選択される、請求項1～7のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項12】

前記成物は、個体における神経障害を処置するために使用される、請求項1～7のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項13】

前記組成物が、  
(a)喘息、肺線維症、慢性閉塞性肺疾患、囊胞性線維症、アレルギー性鼻炎、結膜炎、皮膚炎、および食物アレルギーからなる群から選択されるアレルギー疾患；  
(b)潰瘍性大腸炎、クローン病、炎症性腸疾患(IBD)、短腸症候群、胃腸炎、粘膜炎、および脾炎からなる群から選択される胃腸障害；  
(c)乾癬、アトピー性皮膚炎、湿疹、強皮症、脱毛症、および脱毛からなる群から選択される皮膚障害；または  
(d)肝炎、肝硬変、脂肪肝疾患、肝線維症、脂肪性肝炎、および原発性硬化性肝炎からなる群から選択される肝障害、  
を処置するために使用される、請求項1～7のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項14】

前記組成物が、個体における治療的処置の有効性を増大するためおよび/または毒性を

低減するために使用される、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の組成物。

**【請求項 1 5】**

前記組成物が、個体におけるマイクロバイオームの不均衡または腸内菌共生バランス失調に関連する疾患または医学的状態を処置、修復、または修正するため使用される、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の組成物。